

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	武雄北中学校
-----	--------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 本年度取り組んだ家庭学習の内容や方法について見直しを図り、「810大作戦」を継続し、さらに学習習慣の定着を目指す。そして、集団での学び合い(授業)と個の自学力(家庭学習)をタブレットをうまく使いリンクさせていきたい。 本年度は、各種行事においてお互いが認め合い支え合う人間関係づくりに力を入れた。今後も生徒会を中心に様々なイベントを企画させ主体的・協働的風土を醸成し、心身ともに健康な生徒の育成を図りたい。 不登校生徒等の「気になる生徒」について対応はよくしているものの、共通理解が図れていないと感じる職員がいる。次年度は、定期的に共通理解を図る場を多く設定し、全体での共通理解、共通対応を図りたい。
------------------	--

2 学校教育目標	「自ら学びを求める人」「志をもちゆめ実現を目指す人」「心身ともに健康な人」
----------	---------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考え判断し、決定し自ら行動する資質の育成 たくましく生きぬくための心身の健康と体力の増進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○家庭学習の定着を目指した分かりやすい授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○授業の振り返りにタブレットドリルを活用し、学校評価アンケートにおいて、60%以上の生徒が810大作戦を達成できたと回答する。 ○各教科担任が、生徒が自分の考えを説明する場面を毎時間1回以上設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がマイプランの達成度を振り返ることができるように、振り返りシートを毎月配布する。 ・帰りの会で授業の振り返りを行い、掲示する。 ・タブレットドリルを授業と関連させて自主的な取り組みを促す。 ・説明力を付けるために授業の中に、自分の考えを説明する場面をつくる。 			
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎生徒が志をもち、夢や目標の実現に向けて自分で考え判断し、自ら行動するための教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒75%以上 ○気になる生徒や変化のあった生徒についての情報(毎月実施の生活アンケート等)共有が職員間で確実に行われ、対応についての共通理解が図られていると回答した教員90%以上 ◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした生徒70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業において、学級全体で意見を出し合う雰囲気づくりに努める。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施をして、授業の質の向上を目指す。 ・人権集会の場を設ける。 ・生徒指導協議会で気になる生徒について共通理解を図り、関係機関との連絡を密にし、生徒が安心・安全に生活できる環境をつくる。 ・生活アンケートや教育相談アンケート等を実施し、記述内容について学年、生徒指導を共有し、いじめの予防、早期発見に努める。 ・行事毎に個人目標を記入させ、振り返りをさせ、目標に向けて計画、実践し達成感を味わわせるよう支援する。 ・生徒たちが将来を見据え、卒業後の進路について考えるために、各学年で進路学習を充実させる。 ・総合的な学習の時間で、地域のことを知り、地域のことを発信できるような学習内容を各学年で工夫する。 							田中 喜多高平
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○望ましい生活習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒85%以上 ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の足で登下校するように指導する。 ・部活動開始を帰りの会終了後15分以内にスタートできるように全職員でサポートする。 ・食に関する専門的な知識や日ごろの生活で役立つことを、年間計画をもとに栄養教諭と連携して指導する。 ・朝食摂取率95%以上を目指すとともに、栄養バランスにそった食育指導を行う。 ・生活習慣アンケートの実施。 ・生活アンケートをもとに、生活習慣についての見直しを行う。 							田中高平 喜多
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を職員全員が遵守する。	・タイムレコーダーを活用し職員の毎月の時間外勤務時間を把握し適切な指導を行う。 ・挨拶や声かけを大切に、お互いが見守り合う組織作りを行う。							足立

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○学校経営・教育活動	○「夢プロジェクト」の推進	○武雄北中の一員として、「夢プロジェクト」に取り組んでよかった」と回答した生徒70%以上	・生徒全員で、学校や地域に貢献し、達成感を得ることができるような活動を行う。			

5 総合評価・次年度への展望	●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育
----------------	------------------------------